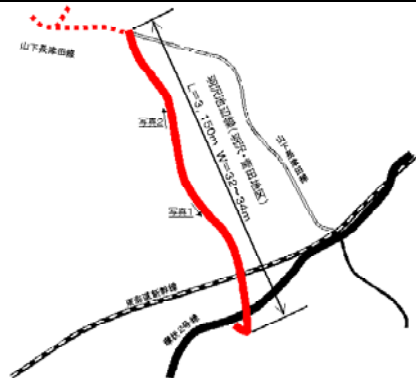


再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担当課：関東地方整備局都市整備課
担当課長名：新屋 千樹

事業名 はざわいけべ 羽沢池辺線（羽沢・菅田地区）	事業区分 街路	事業主体 横浜市
起終点 よこはま かながわ はざわ すげた 自：横浜市神奈川区羽沢町、菅田町 至：横浜市緑区鴨居町		延長 3.15km
事業概要 本路線は神奈川区羽沢町から都筑区池辺町に至る延長約5kmの主要な幹線道路であり、本地区は環状2号線から山下長津田線を接続する延長3.15km、幅員32～34mの6車線の道路である。		
H 4年度事業化	S 44年度都市計画決定 (S 48年度変更)	H 4年度用地着手 H 4年度工事着手
全体事業費	約450億円	事業進捗率 34% 供用済延長 0.0km
計画交通量	34,560台/日	
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.5 (残事業) 6.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 253/485億円 〔事業費：253/485億円 維持管理費：0.25/0.25億円〕
	総便益 (残事業)/(事業全体) 1699/1699億円 〔走行時間短縮便益：1630/1630億円 走行費用減少便益：30/30億円 交通事故減少便益：39/39億円〕	基準年 平成18年
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C=3.5(6.6)(交通量-10%)		
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路の位置づけあり）		
関係する地方公共団体等の意見 本地区の整備により、当地域の南北方向の連絡が強化し、交通の利便性の向上を図る。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 環状2号線の完成により北部方面への交通量が増加するとともに、本路線を含んで構成される北部放射幹線道路の周辺地域では市街化が進行しており、人口増加や大型商業施設の進出等により交通需要の増加が見込まれている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成17年度末までに用地取得進捗率は57%、事業進捗率は34%となっている。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地取得面積が多いため取得に時間を要していますが、取得の進んだ環状2号線との交差点から工事に着手し、平成23年度に完成する予定である。		
施設の構造や工法の変更等 特になし。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 横浜市の骨格となる3環状10放射道路、また地域高規格道路でもあり、環状2号線の新横浜都心から横浜青葉IC方向を南北方向に連結する重要な路線であるため、事業継続する必要があると判断した。		
事業概要図		

凡 例	
対象区間	———
事業中区間	- - - - -
完成(概成)区間	———
未整備区間	———



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。